

イチオシイベント  
全日本リレー大会 2005  
2005年12月18日

# 八十八ヶ所お遍路巡り

木村佳司

江戸時代のパーマネントコース  
「島内八十八箇所めぐり」  
この島は時代を越え、オリエン  
ティアのDNAを刺激する。

平成17年度全日本リレー大会  
2005年12月18日(日)  
岡山県笠岡市白石島  
<http://www.orienteering.com/jroc2005/>



白石島にある八十八ヶ所の礼場。テレイン内のあちこちにこうした石仏がある。写真のように岩をくりぬいたものからお堂に入っているものまで、カタチはさまざま。

## 遍路みち

八十八ヶ所巡りといえば、四国礼場がその本場である。しかし四国はあまりにも広い。そこで江戸時代には西日本を中心に四国八十八ヶ所のミニチュア版が各地に作られた。

瀬戸内海の島にもこの八十八ヶ所は作られた。これをめぐる巡礼は1日から2日のできるものである。推測するに、この手軽さが江戸時代に受けたのだろう。忙しいビジネスマン、農閑期の民、足の弱い老人。いずれもが広大な四国の地と弘法大師に思いを馳せ、早春の野を楽しんだに違いない。

そんな江戸時代の人たちが四国に見立てた島。それが岡山県の瀬戸内海に浮かぶ白石島。白石島八十八ヶ所巡り・・・それはさしずめ江戸時代のパーマネントコース。長い時を経て、この島は全日本リレーの舞台となる。過去と現代の接点がここにある。



船から見る白石島。笠岡諸島の島影が重なって、どこからどこまでが白石島なのか判らない。笠岡港から高速船で22分。常春の島「白石島」に到着する。

## 今も続くスピリット

白石島の八十八ヶ所巡り礼所はまだ健全。実は隣の島にも八十八ヶ所巡りがあり、これの中継点として営業している民宿が多数あるという。関東・中部地方では、毎年夏になるとオリエンティアで賑わう富士山麓や八ヶ岳山麓の宿所があるが、それに近いものだろうか。

23年前から毎年春に白石島ではオリエンテーリング大会が開催されている。お遍路めぐりの伝統は今もオリエンテーリングに続いている。

島でのオリエンテーリング大会は実はメリットも大きい。閉じられた島内でのコースは、初心者が大きくコースアウトすることがない。島内を走る車は少なく、交通事故の心配はまず無い。だいたい島には信号すら無いのだ。

## 今春の白石島大会

今春の白石島大会も例年とおり開催される。ひとつ違うことは全日本リレー大会を控えていることだ。

全日本リレー大会で競技に使用する範囲はすでに公開されている。春の白石島大会ではこの範囲を避けてコースを設定する。このため全日本リレー大会に参加を予定している人でも、気兼ねなく春の大会を楽しんでいただける。

地図は全日本リレー大会基準で作る

直す予定。春の大会で使用された範囲とその地図は、そのまま全日本リレーのモデルイベント範囲となる。

今回の春の大会はE-cardを使用する。これは運営者側の全日本リレーにむけたトレーニングが目的。これも参加者にとっても魅力のひとつになるだろう。(木村佳司)

## 笠岡市オリエンテーリング大会

平成17年4月24日(日)  
笠岡市白石島 笠岡市B&G海洋センター  
地図 縮尺 1:10,000 5m 4段階表示  
個人クラス(一般¥500 小中学生¥200)  
MA (4km) (男子経験豊富な人)  
MB (3km) (男子経験中位の人)  
WA (3km) (女子経験豊富な人)  
WB (3km) (女子経験中位の人)  
MWN (3km) (男女経験の少ない人)  
フィットネスクラス(1グループ¥500)  
一般組(3km)/家族組(3km)/女子組(3km)/  
少年少女組(3km)  
注:グループ構成員数は2-5人とする。  
<http://www.orienteering.com/jroc2005/>



テレインの砂浜を歩く運営メンバー。全日本リレーの翌日は平日だが、88ヶ所をめぐり「お遍路スコア」を企画している。